

勿来工業高等学校建築科OB会

<http://nakoso-ob.com/>

事務局だより

発行日
令和2年3月31日

第 26 号

発行所
いわき市石森二丁目1-13
事務局 千葉良司
TEL 0246-35-0631
FAX 0246-35-0632

発行者
勿来工業高等学校
建築科OB会
会長 千葉良司

No.	行事名	日付	場所	参加者	項
1	会計監査	2019年4月7日	千葉良司宅	3 名	2
2	幹事会	2019年4月24日	労働福祉会館	8 名	3
3	総会	2019年6月28日	いわきワシントンホテル	37 名	5
4	幹事会	2019年10月23日	労働福祉会館	6 名	8
5	新年会	2020年2月1日	ホテル ミドリ	10 名	10
6	設計コンペ審査会	2020年2月15日	労働福祉会館	7 名	12
7	同上表彰式	2020年2月28日	勿来工業新校舎会議室	中止	14
投稿	学校報告				16
	7回生 福富大祐さん				24
	10回生 千葉良司 同窓会総会				25
	18回生 鈴木忍さん ゴルフコンペ				27
	10回生 鈴木秀明さん				29

No.1 会計監査

平成31年4月7日(日) 9:00~10:00

いわき市石森 会長(千葉良司) 宅

小林仁 5 千葉良司 10 佐藤則之 31

桜の花が満開の時期を迎え、私の家の前の桜並木は昨日から急に花びらを拵げ、会計監査日を迎えたこの日はタイミングの良い花見日和となりました。私の家(いわき市石森)で会計監査を行いました。会計監査で5回生の小林仁さん、会計で31回生の佐藤則之さん共に9時に我が家に集合し、淹れ立てのコーヒーを飲んで10分ほど世間話をして寛いだ後、監査を始めました。総会用の決算書、仕訳表、現金出納帳、領収書、請求書、その他の資料を準備し、資料は20ページになり、会計監査員と会計役にコピーして渡し、私が原本を見ながらお金の流れと資料の見方を説明して進めていきました。現金出納帳と領収書の照合から始め、現金の繰越金38,872円から始まった現金出納帳は、年度末の締めには現金24円となりなした。収入はOB生の総会時の寄付金と新会員の終身会費です。支出は22枚の領収書が資料として提出され出納帳と照合しました。その確認を終えると、出納帳から仕訳して決算書としてまとめた資料(項目、金額、仕訳集計)

を確認しました。その後、仕訳集計表の項目と金額が総会資料の決算報告書に適正に記載されているかを確認しました。支出の部の予算に対する決算は、設計コンペと印刷費が増額となったほかは、減額となりました。設計コンペの増額は1万5千円です。これは、卒業生へ副賞として渡している卒業設計作品集の冊子作成に前年の72ページで作成したものが、今年は去年の2倍のページ数となる144ページになった事による増額でした。印刷費は予算より2千円ほどの増額です。その他は全て減額で、今年度の実際の収入に対して、支出がほぼ同額となる、理想的な決算書の結果となりました。決算額は35円の黒字です。これらを確認して会計監査に出席した3名の印鑑を押印して会計監査が無事終了しました。

会計監査

平成30年度収支決算書につき、諸帳簿及び関係書類について対照監査したところ、その内容は正確且つ適正であることを確認いたしました。

会長 千葉良司
会計 佐藤則之
監査 小林 仁

平成31年4月7日(日)

No.2幹事会(春)

平成31年4月24日(水) 18:00~20:00

いわき市平労働福祉会館3階

鈴木茂信 4	福富大祐 7	千葉良司 10	鈴木秀明 10
渡辺久 11	志賀正敏 20	四家康正 21	橋本浩喜 25

4月27日から始まる大型連休を前に世の中が慌ただしく動き、連休になる前に段取っておきたいこと、済ませておきたいことなどいろいろ動いている用であります。そんな影響があったのか、幹事会には11名の参加者が予定しておりましたが、そのうちの3名が急用ができたという連絡が入って不参加となつての8名での幹事会となりました。予定された午後6時に参加予定者のほぼ全員が会議室に集合し幹事会が開催されました。四家事務局長が準備したレジュメに従って四家さんの進行で行われました。初めに会長(千葉)の挨拶(全文記載)を行い、挨拶が終わると議題に入りました。この日の議題は、総会に向けての役割や内容の確認であります。総会の会場と日時を確認して内容の確認作業に入りました。準備した総会資料を基に作業が進められました。四家さんが1ページから内容を説明を兼ねて読み上げ1ページ毎に参加者の意見を請求し同意を得てから次のページへと移行して行きました。今年度の

議題で大きなものとして役員改選があります。昨年の総会時に会計係の一人が欠席となり、受け付けが一人でしなければならない状態となりました。その経緯について伝え、会計係特に総会時の受け付けの人員の確保を強化しなければならない胸を検討しました。役員の役割と会員はほぼ留保とすることになりましたが、事務局員として10回生の鈴木秀明さんが初入閣され、総会受け付けの補助として鈴木秀明さんと志賀正敏さんに参加して頂くことになりました。前年度まで直前会長の福富さんは、会計監査を引き受けて頂くことになりました。総勢23名体制のOB会執行部員が整い、総会にて承諾を待つことになりました。総会資料の内容確認が終了すると、次は総会お知らせの内容の検討に入りました。日程と時間と場所については、問題なく予定通りですが懇親会費についての話し合いがあり、慎重に検討いたしました。昨年の総会時に会場から懇親会費の値上げをお願いされていたのが現状でした。同窓会総会の懇親会費を経験すると、値上がっている金額のようであります。OB会としても多くの参加者を期待すると値上げしたくありませんが、値上がりが世間の相場金額のようであり、幹事会に参加し

た全員の承諾により1千円値上げの懇親会費と言うことで決定して、総会案内を郵送することになりました。検討すべき作業がほぼ終了し、幹事への通知をするための封筒セット作業の日程と場所とメンバーを確認して幹事会を終了することができました。



会長千葉良司ご挨拶

幹事会のご挨拶を申し上げます。本日はお忙しい中ご参集頂きましてまことにありがとうございます。昨年の総会の後、本日の幹事会を開催するまでに、10月の幹事会、2月の新年会、設計コンペ審査会、設計コンペ表彰式及び入会式と4つの行事を執り行い、新しい年度を迎えることができました。今月（4月）初めには、会長、会計係、監査係の3人で会計監査を行いました。その翌日には、学校の同窓会総会に建築科から4名が参加してまいりました。同窓会総会に出席したおかげで、OB会の運営にとっても参考になりました。同窓会総会は新年度を送り、活動が開始されております。一つ気になる情報がありました。現在1学年5クラスの体制で運営していますが、3年後には1学年4クラスになるようです。機械科・電気科・工業化学科・

建築科・電子科のどれが消滅するか合併するかという詳細は全く分かりません。日本の少子化の波が例外なく我が母校にも及んでいるようであります。本日は6月の総会に向けて内容の検討を行い、総会にて快い承諾を頂けるように十分な打ち合せと意見の交換ができればと思います。平成最後のという言葉が毎日のようにテレビから耳にいたします。元号が昭和から平成に変わった時とは違う世間の雰囲気であります。来月から令和という元号に変わるわけですが、OB会総会の資料も令和元年度第27回総会というタイトルのもと進めたいと思います。毎日いろいろな出来事が発生して報道されますが、3日も経つと大きな事件も忘れ去られてしまいます。今月（4月）は、元号が令和になるとの発表がありました。議員の発言には「忬度」や「復興よりも国会議員が大事」といって辞任する始末です。はやぶさ2号は世界的な注目を集めています。24時間営業のコンビニのもだえ、新紙幣モデルの発表、5G電波割り当て、ノートルダム寺院大規模火災、などいろいろな出来事が発生しています。勿工建築科OB会の会員様も建築現場で新しい物作りに携わりながら、自己研鑽し、刺激を受け、進化しながら日々を過ごしていることと思います。激動する世の流れに沿うようなOB会活動が運営できればと思います。

No.3 総会

令和元年6月22日(土) 17:00~20:00			
いわき市平 いわきワシントンホテル			
来賓	勿工校長 芳賀菊博様		勿工教頭 田畑 淳様
	勿工教頭 池田光治様		勿工同窓会長 鈴木祐一様
北郷 哲夫 3	本田 博 3	渡辺 忠敬 4	小林 仁 5
嵐 繁雄 6	高橋 貞徳 6	志賀利光 7	福富大祐 7
平子恵俊 9	鈴木俊美 10	佐久間一弥 10	佐藤政春 10
鈴木秀明 10	園部好正 10	千葉良司 10	村谷 徹 10
大井川久 11	中田 明 11	渡辺 久 11	高原典宏 14
佐藤博史 18	鈴木 忍 18	緑川 章 18	渡辺法広 18
渡辺善智 18	志賀正敏 20	四家康正 21	橋本浩喜 25
小野太一郎 40	上遠野莉久 53		
来賓4名、OB生30名、合計34名			

総会報告 千葉良司

27回目となる勿工建築科OB会総会が平二町目のワシントンホテルで開催されました。午後4時に執行部の皆さんが集合し、5月に行われた幹事会に総会の役割を確認しそれに従って、それぞれの役割に活動が始まりました。橋本(会計25回生)さんをはじめ、鈴木秀明(10回生)さん、志賀(20回生)さんが受け付けテーブルで準備をして会員を待つ状態が整いました。受付は最終的に橋本さんと高原(14回生)さんが会場の外側の入り口で行い、総会には参加できず懇親会からの参加となりました。受け付け係りご苦労様でした。総会のための打ち合せを私(会長)と四家事務局長が会場のお世話係りと話し合い、

参加者人数の確認、懇親会時のテーブル席の確認、懇親会のスピーチの時間、飲み物を準備するタイミングなどを確認しました。役割について総会時司会の鈴木忍さん、議長予定の渡辺久さんと簡単に打ち合せをしました。懇親会については、毎年司会をしていた佐藤敏男さんが欠席となり、急遽20回生の志賀さんをお願いして、慣れない役割にいろいろな打ち合せをして暫定、準備が整いました。予定通り午後5時から総会が開催されました。鈴木忍さんの司会進行で、開会が宣言され、会長(千葉良司)の挨拶の後に渡辺久さんの議長による総会の議事が審議されました。総会資料について説明します。毎年資料として出席者に配布していた資料はA4版16ページ(A3両面印刷4枚分)のコピー用紙でしたが今年初めてA5版96ページにまとめ、総会資料、事務局だより、卒業設計コンペ入選者10名過去3年分を収録したものを作成しました。この冊子を元に審議が進められました。平成30年度の事業報告、決算、会計監査報告があり、第1号議案は参加者全員の承認を頂きました。次に令和元年度の事業計画、収支予算の案が事務局長より提案されこれら第2、第3議案についても承認を頂きました。第4号議案は隔年行っている役員改選です。前年度の

役員の殆どが継続となりましたが、7回生福富さんが会計監査に加わり、10回生鈴木秀明さんが事務局員に初入閣され、そのことが事務局長から発表され承認を頂きました。役員23名、幹事110名のOB会組織が承認されました。第5号議案のその他では、福富さんより事前に配布したプリントを元にお話がありました。現在事務局だよりは会長1人で記事を書き作成していますが、皆さんからの記事、報告など募集しますので奮って寄稿してください、とお願ひがありました。今後事務局だよりは私

懇親会報告 千葉良司

午後5時から40分ほど費やした総会が終わると、会員は全員ロビーへと移動し、午後6時から行われる懇親会を待つことになりました。総会会場と懇親会会場は別に設置され4つの円卓を用意していただきました。6時になる前にそれぞれ決められたテーブル席へ移動しました。1つのテーブル席に8から9名の席が設けられる大きさの広さがあります。出席の連絡があった30名の会員と4名の来賓の方が着席して準備が整い、20回生の志賀正敏さんの進行により始めら

れました。会長の挨拶が済むと、本年度喜多方桐桜（とうおう）高校から校長として赴任されたばかりの芳賀菊博様よりご挨拶がありました。次に同窓会会長の鈴木祐一様からご挨拶があり祝辞と近況報告などお話しされました。来賓紹介では校長先生、教頭先生2名、同窓会会長が紹介されそれぞれご挨拶がありました。来賓紹介をしている間に会場係がお酒の準備を行い、紹介が終わると乾杯のご挨拶ですが、恒例となっていた富樫要次様が一昨年暮れに亡くなられ、昨年からは福富さんがそれを引き継ぎ、今年も乾杯の音頭を取り懇親会がいよいよ始まりました。今年の参加したOB生は3回生から53回生という幅広い年齢層の集まりとなり、席を立ちそれぞれお酒を注ぎながら自己紹介や近況報告などして懇親を深めていたようでした。終盤間に渡辺久さんの音頭取りにより校歌と建築科応援歌を皆で合唱いたしました。校長、教頭、同窓会長は応援歌が存在することを知らなかったようで感心して合唱に耳を傾けていたようです。中締めは元会長の嵐さんが行い三三七拍子の拍手を打って勿工建築科OB会総会・懇親会がお開きとなりました。

建築科科长 山野辺幸喜様 ご挨拶

勿来工業高等学校建築科 OB 会第 27 回総会の開催、誠にありがとうございます。

OB 会の皆様におかれましては常日頃より建築科の教育活動に際しご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。この度は諸般の事情により出席することができず、大変申し訳ございません。

さて、建築科の近況ですが、教職員では今年度の人事異動により、昨年度まで在籍していた渡辺学教諭に代わり、会津工業高校から寺島弘幸教諭を迎え新たなスタートを切りました。また生徒については新 1 年生 40 名（男子 33 名・女子 7 名）が入学し、学業に部活動に日々頑張っております。2、3 年生についても 3 級技能士（建築大工）試験に 10 名受験し、全員が合格するなど、資格取得にも積極的にチャレンジし、成果を上げております。

このような生徒の頑張りに応えるべく、科職員が一丸となり、また OB の皆様のバックアップを受けながら全力で生徒をサポートして行きたいと思っておりますので、変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます、お祝いのメッセージとさせていただきます。



No.4幹事会(秋)

令和元年10月23日(水) 18:00~20:00

いわき市平労働福祉会館3階

福富大祐 7 千葉良司 10 鈴木秀明 10 渡辺 久 11

佐藤敏男 12 四家康正 21

会長ご挨拶

千葉良司

本日は秋の幹事会にお集まりいただきましてありがとうございます。今月12日真夜中にいわきを襲った台風19号は、甚大な被害をもたらしました。OB会会員の近辺の方でお亡くなりになられた方にはお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。被災された方には謹んでお見舞い申し上げます。また平浄水場管轄で給水されている居住者には、10日間の断水生活が続き、台所・洗濯・入浴・トイレ使用などに不便が続いた時期となりました。やっと22日から給水が開始されライフラインが整いましたが、平窪や好間その他夏井川・好間川沿いにお住まいの氾濫に巻き込まれた方々は建

物や車が浸水して平常生活に戻るには、まだまだ時間がかかる状況とされます。地震や台風が発生して災害に巻き込まれる事は、日本列島の地理的な環境であると思われませんが、常時災害列島の今後の課題として、我々を含めて勿工を卒業していく土木建築技術者が努力し研究開発をして改善していかなければならないものと思います。

本日の幹事会は総会の反省会を兼ねて勿工の将来の姿を想像しながら、建築科OB会がどういう方向に進むべきか考えたいと思います。近い将来、5学科から4学科編成の学校運営が決まり、更には、他校との合併というシナリオも検討中のようにあります。少子化対策の現実が待ち受けています。そんなことも含めながら提案・意見など話し合えればと思います。本日はよろしく願いいたします。

幹事会報告

6名の幹事によって10月23日午後6時より幹事会が開催されました。事務局長の四家さんの準備した資料（レジюме、総会時入金表、総会出席者5年分履歴）を基にレジюмеに従って進行しました。会長挨拶後に議題に入り、一つ目の総会反省会がありました。当日1名追加により34名の会員が集まりましたが、昨年より3名減となりました。懇親会費は会場の前々からのお願いにより今回から7千円ということで千円の値上げで集まっていただきました。受付で集金した金額は、懇親会費の他、寄付金等が10万7千円集まり貴重な運営資金の一部となりました。二つ目の議題として今年度の活動計画の確認を行いました。令和2年2月は新年会、設計コンペ

会があり、2月末日には設計コンペ表彰式と入会式を控えております。

そして1年分の活動内容をまとめた事務局だよりの作成を行って3月31日で決算して来年度に向けて資料作成に入る予定になります。このような流れの今後のOB会の活動に参加と協力をお願いしました。最後に将来のOB会のあり方について意見がありました。2000名を超える会員、110名の幹事、21名の執行部で組織されているOB会でこの日の6名の幹事では話が進まず機会を見てしっかり議論を交わすこととなりました。



No.5 新年会

令和2年2月1日(土) 18:15~20:00

ホテルミドリ (いわき市植田町)

嵐繁雄 6	福富大祐 7	志賀利光 7	平子恵俊 9
千葉良司 10	佐藤敬男 12	高原典宏 14	志賀正敏 20
四家康正 21	橋本浩喜 25	10名参加	

新年会報告 千葉良司

日中から晴れ渡った穏やかな日となった2月になったばかりの土曜日に植田町ホテルミドリで建築科OB会の新年会が開催されました。参加者は各回の幹事が殆どで10名の出席となりました。四家事務局長の進行により宴会を前に幹事会を行いました。会長の恒例の挨拶が終わると、レジュメの資料を元に報告関係を読み確認をしていきました。日程の近い順から、2月15日卒業設計審査会、2月29日表彰式と新会員への説明会及び昼食会、4月22日幹事会、そして6月27日(第4土曜日)は総会、その他として卒業設計の作品展が2月7日から3日間マルチ中岡店で展示されることが学校から連絡がOB会に来ていることを報告し、行事日程に協力を呼びかけました。報告関係が終わって新年会の乾杯を福富さんが行い料理とお酒を味わいながらの交流の場となりました。本日出席できなかった鈴木忍さんからお酒の差し入れがありました。また、クレハ錦建設のかたからワイン4

本が届けられていました。料理は前菜、刺身、ローストビーフ、鴨鍋、茶碗蒸し、天ぷら、鍋後のおじや、そして甘味が振る舞われ笑い声を聞きながらの楽しそうな交流の場となりました。個人的な話を少し紹介します。福富大祐さんが代表を務める設計会社が今年3月をもって法人を解散し30余年の営業活動を閉じますと報告がありました。嵐繁雄さんは、四国徳島の大塚美術館に行った事の状況を話されていました。世界各国の美術館に展示されている作品のレプリカ(実物大で作成し陶器状に仕上げている)が1000点以上収蔵されている。個人的に行ったり、仲間で行ったりで3回行って見てきたと話されていました。橋本幸喜さんは土木設計の仕事に従事して、昨年台風19号の災害の状況を話し、復旧作業の調査などで日々忙しい生活をしているようです。その他趣味の話や、ゴルフや登山の話で盛り上がり2時間があっという間に過ぎて嵐さんの中締め1本めで新年会が開きとなりました。



会長挨拶 千葉良司

本日は勿工建築科OB会の新年会であります。OB会の皆様にはお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。2月になり暦は節分、立春と春を告げる言葉が現れる時期となりました。1年で一番寒い時期の2月ではありますが、今年は3月下旬の陽気が続く暖冬の2月の大寒の季節であります。令和になってまだ1年が循環していませんが、今年は令和2年、うるう年で、東京オリンピックが開催される年でもあります。新年が開けていろいろな出来事が起こっております。初っぱなカルロス・ゴーン、レバノン逃亡、今年は戦後75年、日米安保条約還暦迎えての日本国防衛の不安定さ、フェスブックのリブラ構想に対抗して、各国でデジタル通貨研究が加速しています。オーストラリアでは森林火災で北海道を上回る面積が焼失され、温暖化と異常気象により各地で大規模な災害をもたらしております。今最も心配している新型コロナウイルスの感染拡大は、毎日どんどん感染者が増え続け発生源とみられる中国武漢市とその周辺は封鎖されました。日本は水際対策で感染を予防できるでしょうか。既に数名の感染者が日本でも確認されております。訪日客が増える現状に対

応しきれるか心配しております。話はOB会に移行して、新年会を過ぎると行事が多数待ち受けております。来週末3日間はマルト中岡店で卒業設計展があります。その1週間後OB会が審査する設計コンペ審査会、そして2月末日にはその表彰式と入会式があります。その後、事務局だより発行、決算、会計監査、春の幹事会などを消化すると6月に総会が待ち受けております。私の挨拶のあとに事務局長からご提案がありますが、行事の内容、日程などを確認しながらご協力いただき、居心地のよいOB会の活動が行われることを祈願いたします。

OB会会長千葉良司



****No.6 設計コンペ審査会****

令和2年2月15日(土) 9:00~12:00

いわき市平労働福祉会館3階和室

福富大祐 7	千葉良司 10	高原典宏 14	鈴木 忍 18
四家康正 21	橋本浩喜 25	浦木祐作 33	

審査会報告 10回生 千葉良司

晴れ渡った穏やかな日を迎えた2月中旬、午前9時から審査会が開催されました。前日に高原さんと四家さんが学校へ行き、卒業設計作品35名分を借りてこの日に持参していただきました。審査会場の部屋は和室になっており畳に35名分の作品が並べる事になります。並べる前に作品をデータ化するために写真撮影を行いました。撮影の為に図面をセットする人2人、カメラのシャッターを押す人、撮影が終わった図面を畳上の並べる人、それぞれ役割分担し、粛々と35名分の撮影を終了し、全員の作品が一望出来る環境が整い、審査員7人の審査が始まりました。それぞれの審査員は片手に付箋を10枚持ちながら作品を見て回り、優秀と思われるもの、面白いもの、変わった発想のもの、感性が一致するものなどの作品に付箋を貼っていきました。最終的に10点選考する予定ですが、張られた付箋の付いた作品を並べてみると16点選出されていました。付箋の多いものから並べ、上位の最優秀賞から審査が始

まりました。全員票が集まったのは3名でした。その後貼り付けた付箋の多い順に賞が決まっていくのが普通であります。しかし今回は、張られた付箋の数に関係なく、選出されたすべての作品について話し合い、票の少なかった作品が優秀賞に移動になったり、審査員のそれぞれの考えが伝えられた審査会でした。そのうちの、最優秀賞を獲得した浅野亜実さんの作品について感想を伝えます。イオンいわき小名浜店から南に眺めた位置に予定した建物は、埠頭の一部を埋め立て、3方向を海に囲まれた立地条件。まるで船上で生活しているような環境での宿泊施設。図面の第1印象は紙面に無駄がなく、考えたものを出来るだけ多く表現しようとしているようです。建てようとする敷地の周りの様子も表現し周辺に違和感のない自然さを残そうとして努力しているようです。案内図があり、外観パースで全体像を伝え、平面図、立面図、内観パースを作成した後に着色して、わかりやすく表現して説得力のある仕上げとなっています。審査員全員の意見が一致した最優秀賞でした。

選出された10点全てについて、14回生の高原典宏さんが伝えます。

総評

御卒業 おめでとうございます。

今回の審査会ではいままでに無かった事が起こりました。いままでは、ファーストインプレッションで選んだ入賞作品は、ほぼそのまま決定でした。最優秀賞は全員一致で再選考は有りませんでした。優秀賞は3作品でしたが優劣付けがたく、4作品を選ばせて頂きました。さらに、優秀賞と佳作と特別賞の作品は、再度選考しなおし、入れ替わりがありました。大変、面白かったです。

最優秀賞 浅野亜実さん

A1の用紙にあふれる限りの表現力と楽しんで作図している情景が浮かびます。模型の表現力も優れていました。また、虫めがねで拡大した表現など遊び心もよかったです。ただ、残念ながらもう少し図面を大きいスケールで表現できたらもっと良かったです。

優秀賞 上遠野佑真君

放射状に広がる客室がユニークで面白かった。建物のボリューム感の表現も良かったです。ただ、この作品も平面図が小さい。もう少し大きなスケールで作図して欲しかったです。

優秀賞 菅野 萌さん

建物の規模の大きさと図面構成のまとめ方がよかったです。ほぼ、手書きで労力がかかり根気がいったと思います。気になったのは、配色と仕上方に工夫が欲しかったです。

優秀賞 小出 詩音さん

まずは、恐竜のインパクトにびっくりです。さらに、断面図からそのこだわり感があふれてきますが、設計のテーマにどう結びつけるのかは疑問でした。模型の表現力は素晴らしいです。

優秀賞 渡邊 智樹君

この作品は、即、実施設計できるくらいまとまっています。シンメトリーの平面構成は玄人肌で分かりやすいです。しかし、この作品も図面が小さいです。文字の大きさとレイアウトを整理すれば図面を大きく出来たと思います。

佳作 菊池 一樹君

この作品もユニークなインパクトがありました。平面図は五輪のマークを模した形。手書きで

製作したところも良い評価になりました。こちらにも、図面小さいです。上側の丸いイラストより図面を優先して欲しかったです。

佳作 丹野 佑香さん

図面全体に溢れる女性らしいメルヘンチックで柔らかい表現力。テーマとはあえて距離をとったのだろうか？図面もポイントを重点的にチョイスして大きく作図して欲しかったです。

佳作 蛭田 達也君

ユニークな形状に目が留まりました。作図する作業には根気がいったと思います。ただ、平面図の所々に無理な点が散見して残念です。

特別賞 佐藤 蓮君

和風で入母屋の表現に共感しました。平面図もシンプルで良いのですが、1階と2階の柱の位置が合っていない所が残念です。

特別賞 野木 大輔君

図面の構成、レイアウトは良いです。色使いも良いと思います。発想も良いですが、テーマからは離れていると思いました。



令和2年2月28日（金）12：00～13：00

勿来工業高校 会議室

は中止となりました

福富大祐	7	千葉良司	10	高原典宏	14	四家康正	21
------	---	------	----	------	----	------	----

4人が出席を予定しておりました

2月28日に予定していた、卒業設計コンペの表彰式は中止となりました。新型コロナウイルス感染拡大を懸念しての対策です。当日になって学校からの中止決定の連絡でした。前日のニュースによる記者会見の席上で、安倍晋三首相が「全国の小、中、高校を3月2日から春休みに入るまでの期間、休校を要請いたします。」との発表がありました。新型コロナウイルス感染拡大に対する対策です。私たちOB会の設計コンペ審査員7名のうち4名が表彰式出席を予定しておりました。審査会を終了してから、2週間の間に、表彰式に向けて色々な準備しておりました。入選者10名には、表彰状、図書カードを準備し、卒業生全員と先生方に卒業設計作品集A5版72ページ分の冊子を準備し、そして当日OBと生徒達・先生方の交流による昼食会のための弁当を出席者分手配しておりました。弁当以外の表彰状・副賞は2日前に学校へ届けおきました。このように準備しておりましたが、世界的な規模で感染が拡大し

続けているための中止です。副賞や弁当は、先生から生徒に手渡しとなり、生徒達を長い時間を学校に拘束させないようにしたようです。

ここで今日（2月28日）の時点での新型コロナウイルスの情報を、日経新聞2月28日社説掲載を元にお伝えします。中国では死者が2700人を超え、全人代は延期。世界各地に拡大した最大の原因は、湖北省武漢市を巡る情報隠蔽によるもの。昨年12月から多数患者が発生していたにもかかわらず、1ヶ月以上情報開示をせず、対策が後手に回った。その間1100万人の武漢市民のうち、500万人もが中国各地と世界に散った。旧正月の長期休暇前の出国ラッシュだったことも災いした。中国で強まる言論統制は世界の人々の健康まで危険にさらした。というものです。

今年で25回目を迎えた卒業設計コンペ表彰式は、前回まで途切れることなく続いておりました。中止となりOB会が行う在校生への唯一の支援活動が出来なかったのは、とても残念なことでした。

ここで2月28日に勿工建築科卒業生にご挨拶をしたかった内容をお伝えします。自己紹介をしてから、「卒業おめでとうございます。皆さんは、就職や進学が

決まって新年度に向けて不安と期待が入り交じった複雑な心境で過ごしていることと思います。校舎に入る前に、グラウンド前のセブンイレブンから覗けるネットに掲げられた看板を拝見いたしました。部活動では、全国大会、東北大会出場の選手名が掲載されておりました。その横に国家試験等の名称と合格者が掲載されておりました。建築科に係る資格は、2級建築施工管理技士(学科)3名、国家技能検定3級(建築大工)10名が対象の資格かと思います。私の高校生時代には、制度的に取得できなかった資格であります。社会に出ると仕事と生活に追われ、勉強する時間を作るのは、物理的にも難しいと思われれます。高校生という現役で勉強が出来る環境がある時期に取得することは、効率的であります。取得したいという強い意志を持ち、また先生方の指導の力量で実現できた資格取得と考えます。就職した職場には大変有利でしょう。頑張ったその姿勢を称えます。今後、建築を仕事として進んでいく方には、建築士という資格の取得が待ち受けています。とても取得することが難しい資格です。地元のある建設会社では、1級建築士を取得すると、5年間の退社の禁止を条件に100万円の報奨金を設定して

いるようです。資格取得のために予備校または塾があり、授業料に100万円かかる時代です。それだけ費やしてもなかなか取得が難しい資格です。毎日の自己研鑽を怠らず、挑戦してみてはいかがでしょうか。現在、最も懸念されているのが新型コロナウイルス感染拡大です。地球の大陸では南極以外、全ての大陸にこのウイルスが存在し感染者を拡大させています。1月下旬に報道されてから、マスクが店舗から無くなりました。皆マスクの買いだめに走り、入荷しても直ぐに売り切れとなり手に入らない状況が今も続いています。新年度、入学式や入社式には元気に登校、通勤ができるようお祈りいたします。

令和元年度の勿来工業高校（建築科）の足跡

- ご挨拶 校長 芳賀菊博
- 建築科生徒の進路
- 建築科生徒の資格取得状況
- 外部との連携
 - 1 生徒による学校紹介や各科実習体験
 - 2 福島イノベーション・コースト構想
 - 3 木材加工技術指導
 - 4 ふくしま"けんせつ・どぼく女子"座談会
 - 5 インターンシップ
- 建築科の行事
 - 1 高蔵寺三重塔の見学会(5/29)
 - 2 建築科課題研究発表会(12/20)
 - 3 卒業設計展(2/7～2/9)
 - 4 建築物見学会(2/21)
- 部活動状況（東北大会以上）

○ご挨拶

勿来工業高等学校の建築科卒業生 OB 会の皆様におかれましては、日頃より本校建築科の生徒に対してご支援・ご協力いただき心より感謝申し上げます。令和元年度で25回を数える卒業設計コンペは、生徒の資質・能力を向上させ他科では決して経験できない学びをし、四半世紀を経て勿工建築科の伝統となっております。また、その運営を支えて下さっている OB 会役員及び会員の方々に重ねて御礼申し上げます。

さて、本校は少子化に伴い令和2年度から各学科（機械、電気、電子、建築、工業化学）定員40名の1クラスとなっています。1学年200名です。OB 会の皆様が生徒であったときから見ると少なくなってしまったと感じる方が多いと思います。平成30年度の全国の高校生は322万人でした。工業高校で学ぶ生徒数は24万人で全体の約7.5%です。今後もこの割合は減少していきます。しかし、この7.5%の生徒が高校を卒業し各企業で日本の“ものづくり産業”の基盤を支え働いていることは言うまでもありません。大量生産するものづくりは、中国や東南アジア諸国が主となっておりますが、市場に出る完成品に至るまでの機械加工機や建設機械、精度が求められる中間素材等は日本企業抜きではあり得ない事です。

今後、高等学校は更なる改革が求められてきます。生徒の能力を伸ばすことは勿論ですが、地域と連携した「協創力」がより一層必要になってきます。その際にはOB会の方々のお力をお借りすることもあるかと思っておりますのでよろしくお願い致します。創立60周年を迎える勿来工業高等学校は、これからも地域を支える人材の育成を目指し、卒業後も未来に希望を持ち、新たな時代において潤いのある生活を送れることができるよう生徒を育成していきます。

結びとして、勿来工業高等学校建築科OB会のますますのご発展、会員の方々のいっそうのご多幸、ご健勝を心からお祈り申し上げます。

校長 芳賀菊博

○建築科生徒の進路

<就職先>

(株)タイズスタイル エリエールプロダクト(株) (株)渡辺組 アルプスアルパイン(株)
(株)竹中工務店 (株)三崎組 東電フュエル(株) 小名浜海陸運送(株) (株)加地和組
小名浜製錬(株) りんかい日産建設(株) 日化エンジニアリング(株)
クリナップ(株) 福浜大一建設(株) (株)加地和組 堀江工業(株)
(株)ジェイ・ケイ・リアルタイム 小名浜海陸運送(株) 永大小名浜(株) (株)協創
鹿島クレス(株) 常磐開発(株) 品川リフラクトリーズ(株)

<進学先>

仙台大学(体育学部運動栄養学科) 日本大学(工学部建築学科)
日本工業大学(建築学部建築学科) 郡山女子大学(家政学部人間生活学科)
東北電子専門学校(建築科) 国際ビューティ&フード大学校(美容学科)

○建築科生徒の資格取得状況

- 2級建築施工管理技術検定 2名
- 国家技能検定3級(建築大工) 10名
- 乙種1類危険物 1名

- 計算技術検定3級37名
- パソコン利用技術検定2級2名 3級29名
- 建築技術検定 26名
- ボイラ取扱技能講習修了1名
- 漢字検定3級2名
- 数学検定3級3名
- ジュニアマイスターシルバー1名

○外部との連携

1 生徒による学校紹介や各科実習体験(「専門高校生による小中学生体験学習応援事業」 上遠野小、上遠野中学)

11/12(火)、上遠野小学校の6年生27名が来校し、班別ローテーションで各科の実習を体験しました。建築科では3年生7名が、スチレンボードを用いた「住宅模型の製作」をサポートしました。自分で作った作品をプレゼントされた小学生たちはとてもうれしそうでした。

また、12/5(木)には上遠野中学校の2年生32名が来校しました。今回は2年生8名が、「CADによる体験学習」をサポートしました。中学生の画面を見る眼差しは真剣そのものでした。

この活動が児童生徒相互のキャリア教育推進の一助になればと思います。



2 先進的な技術・技能の習得を目指して、再生可能エネルギーやロボット技術、交流人口の増大に対応できる建築関連技術の習得を中心に据え、講演会や企業・施設見学等を取り入

れた工業に関する専門教育(「福島イノベーション・コースト構想」)

☆令和元年度に実施された見学会、及び講演会

7/5(金) キックオフセミナー (1学年全員) [本校体育館]

講師：福島再生可能エネルギー研究所 招聘研究員 大河原 薫 氏

演題：「再生可能エネルギーの現状と今後の動向について」

7/12(金) 再生可能エネルギー講演会 (2学年全員) [本校体育館]

講師：新潟工科大学 工学部情報電子工学科 教授 佐藤栄一 氏

演題：「自然エネルギーの利活用」

10/4(金) 現場見学会「福島ロボットテストフィールド」(建築科3年) 県建設業協会
主催

10/30(水) 施設見学会「福島ロボットテストフィールド」(建築科1年)



10/31(木) 「REIF ふくしま」見学 (1学年全員) [ビッグパレットふくしま]

11/22(金) 施設見学会「日大工学部ロハスの家」(建築科2年)

1/24(金) 福島イノベーションコースト構想関連企業紹介セミナー (2学年全員) [各教室]

建築科担当：㈱タイテック 福島エコクリート㈱

3 木材加工技術指導(「ものづくりマイスター制度」猪狩工務店)

6月から12月までの期間中、全10回(3時間程度/回)に亘ってマイスター2名(猪狩篤一氏・猪狩恭一氏)に来校していただき、1・2学年の生徒10名に対して道具の使い方からものづくりコンテストや技能士(建築大工)3級の課題に至るまで、熱心に指導していただきました。



昨年度は技能士受験者10名全員が合格することができました。

4 ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会(福島県男女共生センター・福島県建設業協会)

今年度で2回目となる「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」が11/18(月)、本校大会議室にて、1・2学年の生徒を対象に開催されました。磐城農業高校緑地土木科から10名、平工業高校土木環境工学科から13名、勿来工業高校建築科から18名、合計41名の女子生徒が希望職種ごとに6グループに分かれ、そこに当該職種のアドバイザーが1名ずつ配置される形でグループ討論が行われました。アドバイザーは、県内の建設会社に従事する4名と、いわき建設事務所・小名浜港湾建設事務所から1名ずつ、計6名のけんせつ女子です。



生徒は、建設業界に対する女子ならではの不安や悩みを色々と相談し、アドバイザーからは実体験を踏まえた的確なアドバイスを聞くことができたようで、座談会は大盛況のうちに閉会しました。

5 インターンシップ

10/23(水)から10/25(金)までの3日間、インターンシップが実施されました。生徒たちは地元の建設会社10社に3～5名ずつお世話になりましたが、実際の建設現場での体験を通して自らの進路選択について考える良い機会となったようでした。



◇受入企業一覧

- ・クレハ錦建設株式会社
- ・林興業株式会社
- ・堀江工業株式会社
- ・山木工業株式会社
- ・株式会社加地和組
- ・常磐開発株式会社
- ・株式会社渡辺組
- ・福浜大一建設株式会社
- ・株式会社三崎組
- ・株式会社作山工務所
- (一社)福島県建設業協会の協力

○建築科の行事

1. 高蔵寺三重塔の見学会(5/29)

言わずと知れた勿工建築科の伝統行事です。毎年春、入学したての1年生を対象に行われ、歩いて現地まで行って概要説明を聞き、皆でお弁当を食べ、また歩いて帰って来るといった一連の体験が、生徒の中に建築科に入学したという自覚と、クラスとしての一体感を芽生えさせているようです。概要説明については本校建築科職員が行っておりますが、富樫要次先生を思い出さずにはられません。



2. 建築科課題研究発表会(12/20)

3年生が課題研究で4月から取り組んできた内容を発表し、1・2年生がそのプレゼンを審査する形で、科の代表を決めました。今年は、CAD班の中の「紅葉傘」が



選ばれました。

今年度の課題研究のテーマは以下のとおりです。

- ・ 模型班「身近な建造物の模型製作」→2班
- ・ CAD班「3Dマイホームデザイナーを用いた再現・架空建築物の制作」→4班
- ・ 木工班「学校に貢献するものづくり」→2班
- ・ 産学官連携班「復興住宅勿来酒井団地空き地スペースの利活用」→1班

3. 卒業設計展(2/7~2/9)

SCマルト中岡店様のご協力のもと、3学年の卒業設計展が開催されました。老若男女145名の来場者があり、たくさんのお褒めの言葉や激励の言葉をいただきました。



4. 建築物見学会(2/21)

江戸東京博物館、浅草寺を見学する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染を懸念し、今年度は中止としました。

○部活動状況（東北大会以上）

部活	実施日	大会名	会場	成績	年組	生徒氏名
水泳部	R1. 7. 19 ～7. 21	第 74 回東北水泳大会・第 67 回東北高等学校選手権水泳競技大会	郡山市しんきん開成山プール	男子 100m 自由形	D1	仲野 晃可
空手道部	R1. 6. 28 ～6. 30	第 41 回東北高等学校空手道選手権大会	天童市スポーツセンター体育館		M2 M2	岡田 周哉 箱崎 偉大
陸上競技部	R1. 6. 14 ～6. 17	第 74 回東北高等学校陸上競技大会 2019(インターハイ予選)	秋田県営陸上競技場	男子三段跳 第 12 位 男子走高跳	E3 M2	関根 尚希 波多野建斗
カイトリフティング部	R1. 6. 14 ～6. 16	第 39 回東北高校選手権大会	三種町琴丘総合体育館	55kg3 位 61kg4 位 67kg1 位 89kg11 位 96kg4 位 団体 4 位	M3B M3B M3A M3B M3A	鈴木拓真 千色航平 高木弘成 渡邊大地 坂本智康
	R1. 7. 30 ～8. 3	第 66 回全国高等学校体育大会	沖縄県糸満市西崎総合体育館	55kg17 位 61kg12 位 67kg15 位 96kg20 位	M3B M3B M3A M3A	鈴木拓真 千色航平 高木弘成 坂本智康
	R1. 8. 24 ～8. 25	第 46 回東北総合体育大会	福島明成高校	61kg3 位 67kg2 位 96kg4 位	M3B M3A M3A	千色航平 高木弘成 坂本智康
ラグビー部	R1. 8. 22 ～8. 24	第 46 回東北総合体育大会	福島市信夫ヶ丘競技場	少年男子 5 位	A3 A3	蓬田朱羅 小島大武
	R1. 8. 24 ～8. 25	第 46 回東北総合体育大会	福島市信夫ヶ丘競技場	女子 3 位	A3	小出詩音

「スケッチ記」

7回生 福富大祐

最近、時間をみてスケッチやデッサンを始めた。本格的には高校の美術クラブ以来といってもいいので 50 年ぶりになる。夏休みに五浦で美術クラブのキャンプをしながら大津港を描いたのを思い出して、いわき周辺の各港を少しずつ描いてみたいと思った。今年はとりあえず江名、小名浜、平潟へ行く機会があったので、簡単な道具を揃えて小一時間のスケッチができた。

あの震災から8年が経過し、江名港には壊れた防波堤が一部湾内に残っていたが、各港とも防波堤や船付き場の災害復旧工事がほぼ終わりの状態で、小名浜港などは天気が良かったため多くの釣り人で賑わっていた。また、平潟港にはいわきのサンマリーナが復旧するまで仮住まいしていると思われるクルーザーなどが見受けられたが、各港とも復旧工事や補強工事で打設された新しいコンクリートの色が、8年前に震災があったことを思い出させるだけである。

港の気持ちの良い空気を吸いつつ、とりあえず鉛筆と紙の感触を感じながら久しぶりに右脳が



左上：江名漁港 2019.5月
現場で2時間ほどで仕上げ。



右上：平潟港 2019.10月
写真を撮り、自宅で仕上げ。

活性化する時間を過ごした。

勿工同窓会総会

平成31年4月6日（土）16：00～21：00

いわき市植田町 ホテルアクセス。

嵐	繁雄	福富	大祐	千葉	良司	四家	康正
---	----	----	----	----	----	----	----

植田駅を17時15分に下車して構外へ出た。ここ2、3日寒の戻りで各地では雪の降る知らせが届いていたが、この日の夕方は雲一つ無く晴れ渡り風もなく穏やかな天気恵まれた。18時から勿工同窓会総会が予定されていた。会場はホテルアクセス。植田駅から徒歩5分程勿工方面へ向かうとそのホテルがある。ホテルに到着すると、宿泊用と、宴会用の入り口があった。宴会用の入り口を見ると「勿来工業高校同窓会」の会場の案内が掲げられ、受付をしている卒業生が何人かいた。それに続くように私も受け付けに名前を告げた。私は役員になっているわけではなく、一般の参加のため名簿に記載されているか心配していた。顧問の位置にある福富大祐さんが参加を呼びかけてくれた。建築科OB会からの参加者は、福富大祐さん、嵐繁雄さん、四家康正さんと私の4人となった。会場に入ると四角いテーブルは3つ準備され、渡された名札を胸に下げ、指定された席へ落ち着いた。四家さんと私は隣り合わせの席になり、福富さん、嵐さんは別々の

席の総会席順となった。午後6時になると司会者が進行していく。テーブル席には11ページ分の容量の総会冊子が準備され表紙は撮影した校舎がカラーで掲載されていた。式次第に従って会が進んでいく。議長は事務局が選任した理事長で平成7年機械科卒業の長瀬喜貴さんが努めた。歯切れのいい大きな声で元気に議事が進んでいく。議事の報告と説明は全てが司会を務めていた評議員で昭和57年機械科卒業、現在勿工の教員をしている吉田智洋さんが行った。建築科に関わっている名前に覚えがあったが機械科卒業という名簿の記載に建築科でないのかと簡単に結びつきを諦めた。吉田さんは議事の報告と説明を丁寧に伝えていた。先生という職業柄ではの話術かなとも思った。事業報告、決算書の読み上げ、同窓会基金の説明、会計監査報告、事業計画の説明、予算書の読み上げと説明を全て行った。特殊なところでは、同窓会会館の敷地内に物置を増築し、それに関わる設計料と建築費が報告書に記載され、説明も丁寧に行われた。たっぷり1時間かけ総会の議事の全てが承認され当年度が開始されたことになる。記載上で注意する点が発生していた。平成31年度としたいところだが、5月から元号が変わっ

て「令和」となる。冊子の表題は2019年度となって司会の吉田さんの説明があり、このように決定したようだ。総会が無事終わって懇親会となった。既に受け付け時に懇親会料の6500円を納金している。会場に準備されたテーブル席の人数を確認してみた。22名の参加者のようだ。その中には校長、教頭2名、教員3名、事務長の7名が含まれている。総会時に挨拶された校長は富樫さんから変わっての初年度の芳賀さん。今年の校長は勿工電気科昭和54年卒業と紹介して頂いた。午後7時を回り懇親会の挨拶と乾杯が行われ、お酒とグルメを口に入れながらお隣同士に酒を交わし自己紹介をして会話を楽しんだ。新校長先生が私の所に来てお酒を注いでくれた。恐縮して自己紹介をしてOB会総会の話をして近日中に総会の招待状を持参しますと言った。参加者の珍しいところでは、平成27年工業化学科卒業の松本さんという若い人がいる。私は彼の席にいてお酒を注ぎながら話を聞いた。現在いわき明星大学、薬学部の4年生で薬剤師を目指して勉学中のようだ。6年間かけてカリキュラムを消化するので後2年ある。話を聞くと勿工の工業化学科で学習した内容が活かされているという。学校の指定枠

という条件で簡単に当大学に入学できたが、初めの頃は勉強に苦勞したようだ。勿工時代は生徒会会長をしていたと言うから、まじめで優等生だったのだろう。学費が家計を圧迫していることを自覚しているようだ。車の免許はまだ取っておらず、通学はもっぱらバスを利用しているという。就職のことはまだ考えていないと言っていた。懇親会の限られた時間で彼とはあまり話すこともできず、しかし私はいろいろな卒業生と話すことができた。会場全体が食べる暇、飲む暇もなく話に花が咲き残っているお酒や食べ物がもったいないほどだった。勿工建築科OB会の雰囲気とはまた違った感覚を味わいながら過ごすことができた。デザートを頂いて、中締めには福富大祐さんが挨拶をして三三七拍子の音頭を取り懇親会がお開きとなった。



追記。前記の勿工機械科卒業の吉田智洋さんと懇親会で話す機会が得られた。現在建築科の建築科目を担当している。勿工建築科での教鞭は6年目だそうだ。

「令和元年OB会ゴルフコンペ開催」

台風一過の10月26日(土)、いわき市湯本にあるスパリゾートハワイアンズ・ゴルフコースでOB会ゴルフコンペが開催されました。

2014年以来の開催でした。前日台風15号の影響でインフラにおける重要な担い手であるOB方、数名が残念ながら参加出来ない方がいましたが6回生から若手31回生まで総勢25名でコンペがスタート。

上限なしの新ペリア方式による競技が行われました。優勝：大川原正雄さん(7回生)、準優勝：遠藤誠さん(18回生)、第3位：石川誠さん(30回生)、グロストップ渡辺久さん(11回生)という結果で賞品が授与されました。チーム賞は「チーム開発」チームでした。また、多くのOBの皆様から商品の協賛いただき、全員に賞品が渡されました。この場をかりてお礼申し上げます。

5年ぶりの開催。6月の総会・懇親会以外で親睦を深めさせていただきました。これからも本会発展の為、また、地元震災復旧復興のために建築科OB会員の「絆」を深めることを継続できたらと思います。今後、本行事などがその一助になればと改めて感じた次第です。次回開催の際、同窓生皆様の多数の参加をお願いできれば幸いです。(幹事記)

2019年度建築科OB会ゴルフコンペ 組合せ表 開催場所：スパリゾートハワイアンズ・ゴルフコース
東コース 7:37 スタート⇒西コース

チーム名										
1	A-1	6回生+7回生	6	嵐 繁雄	6	高橋 貞徳	7	志賀 利光	7	大川原 正雄
2	A-2	9回生	9	平子 恵敏	9	遠藤 芳市	9	金賀 彦二	9	今村 滋
3	A-3	チーム開発	11	小野 大介	24	鈴木 明	30	石川 誠	31	小野 昭仁
4	A-4	18回生 1組	18	渡辺 善智	18	鎌倉 謙二	18	鈴木 忍		=

西コース 7:37 スタート⇒中コース

5	B-1	11回生	11	大平均	11	永山 健次	11	渡辺 久		=
6	B-2	1965 チーム	21	金成 昭治	21	秋山 徹也	21	志賀 幸夫		=
7	B-3	18回生 2組	18	渡辺 法広	18	平出 祥睦	18	永山 丈	18	遠藤 誠



開会式・集合写真



優勝：大川原正雄さん(7回生)：左側
準優勝：遠藤誠さん(18回生)：右側

スナップ写真。



当初参加予定者が 31 名でしたが、台風 15 号の影響で急遽業務欠席になった方がおり 25 名での開催ということで、鈴木忍さんをはじめ幹事の方々のご苦労さまでした。

また、急遽ゴルフコンペを欠席し、台風被害の復旧に出向かれた会員の皆さんもご苦労さまです。

ちなみに、優勝の大河原さんのスコアは GROSS101 (HDCP28.8)、準優勝の遠藤さんは GROSS 100 (HDCP27.6)、グロストップの渡辺久さん (11 回生) は GROSS92 (同グロスで石川誠さん (30 回生)) だったそうです。

皆さん、健闘、お疲れ様でした。

遠上連山故墨長	遠く連山に上れば故墨長し	北京北方の山々に登れば古い砦が長く続
英雄事業不尋常	英雄の事業尋常ならず	いている。秦の始皇帝が始めた事業であ
干戈千載傷心涙	干戈千載傷心の涙	り尋常の規模ではない。しかし、ここで
万里長城立辱陽	万里の長城辱陽に立つ	戦が何回となく行われたのかと思うと涙

平仄：仄起式 七言絶句

押韻：七陽

令和元年七月十二日 作

において、厳しい日射を背に立ち尽くしている。

私は、今年新たに四つの取り組みを始めました。

- 一つ 町内会の役員として地区のための活動をする。
- 二つ 通信制大学にて歴史を学習する。
- 三つ 囲碁を学習し随時対局する。
- 四つ 漢詩を創作する。

ところで上記の漢詩は、今年夫婦で北京に行った折、万里の長城（八達嶺）に足を運んだ時に、見て・触れて・感じたことを帰国してから創作したものです。俳句に比べて決まり事が多く作るのが大変です。かつてNHKの漢詩紀行という番組で、李白・王維・杜甫等の唐の詩人の漢詩を知り興味を持ち、何れは自分で創作してみたいと思っていました。

私なりに推敲を重ねたつもりですが、所詮は素人の愚作・駄作・不作でしかないと思っています。しかし、余りにせぬこれから愚作を作り続けていきたいと思っています。

何の変哲もない私の取り組みですが、今まで経験したことのない事を無理しない程度に取り組んでいくことで、僅かでも今後の自分の人生に彩りを添えていければと考えています。

※平仄とは、平声と仄声（上声・去声・入声）があり、声調の調和のために漢字音を区分したものです。

※仄起式とは、一行目が起句、二行目が承句、三行目が転句、四行目が結句というが、起句の二文字目が仄字（仄声）のもの。平字（平声）のものは平起式という。

※七言絶句とは、起句・承句・転句・結句の四行で構成され各句が七文字のもの。

※押韻とは、その文字の響き。106種の韻があり、起句・承句・結句の七文字目で韻を踏む。因みに上記の漢詩の場合は、起句の長、承句の常、結句の陽で七陽に属す。

※推敲とは、文章を考え練り上げること。中唐の詩人が、「僧は推す月下の門」「僧は敲く月下の門」で迷っていた時、時の高名の詩人に教えを授かったという故事に由来する。

以上 勿来工業高等学校 建築科十回生 鈴木秀明でした。